

AREA.Tokyo-Metro.
AREA.Kanagawa-Pref.
AREA.Chiba-Pref.

29 東京湾

とうきょうわん

東京都、神奈川県、千葉県

Tokyo Wan

海域の概要

本湾は、湾奥に首都・東京を抱える湾で、船舶の交通の要所となっています。古来から江戸前寿司があるように、現在でも湾内では様々な魚介類の水揚げがあります。



Specification

諸元

湾口幅：209 km

面積：1380 km²

湾内最大水深：700 m

湾口最大水深：700 m

閉鎖度指標：1.78

備考：総量規制区域

環境基準類型指定水域

Location

範囲または位置

水質汚濁防止法施行令第4条の3第1号に規定する海域（館山市洲崎から三浦市剣崎まで引いた線及び陸岸により囲まれた海域）。



環境

東京湾の周辺には、東京、横浜、千葉をはじめとする大都市が密集し、湾岸には京葉臨海工業地帯が形成されており、港湾としては世界で最大規模です。これら大都市工業地帯から排出されるさまざまな物質が東京湾にもたされ、湾内の水質・底質環境に大きな影響を及ぼし、赤潮や青潮が頻発する原因ともなっています。

東京湾では、水質環境基準の確保を目的として、CODの水質総量規制が導入されており、COD汚濁負荷量の総合的・計画的な削減が図られています。今後、CODに加えて窒素を対象とした水質総量規制が予定されています。

自然

東京湾の海底地形は、横浜の本牧と富津岬の中間に中ノ瀬と呼ばれる水深 20m の浅瀬があるほかは、単調な海岸地形となっています。東京湾沿岸のほぼ全域が、人工海岸となっている中で、三番瀬・盤州干潟といった貴重な自然が残っており、アマモ場が広がっています。これら浅瀬では、アサリアオヤギなどの貝類やマハゼ、ゴカイなどが繁殖しています。

近年は、浅瀬がもつ浄化能力や、生き物のすみかとしての役割が見直され、湾奥部の葛西人工海浜を始めいくつかの人工海浜が造成されています。

また、外海水が湾内に入り込む湾口東岸の千葉県富津付近から先の外湾には、世界最北限の大規模な造礁サンゴ群落もあり、北のカジメと南のサンゴ群落が隣り合う独特の水中景観が広がり、そこには、トゲチョウチョウウオやトノサマダイなど、黒潮が運んできた色鮮やかな南の魚達が泳いでいます。外湾には、ヤギやウミトサカ、キサンゴなどソフトコーラルが群生する場所もあります。



三番瀬に集まる野鳥たち

文化歴史

東京湾の埋立ての歴史は、既に江戸時代から始まり、江戸前と呼ばれる良好な漁場は時とともに変遷し、現在では高度な産業・都市基盤を包括する日本経済の中核機能を担う地域へと姿を変えています。東京湾沿岸の昔からの町は、江戸時代に栄えた城下町、門前町、舟運で繁栄した商いの町でした。現在、これら地域の文化を連結しようとする東京湾文化コリドール構想があります。

産業

三番瀬や盤津干潟等でノリ養殖が盛んで、日本一高価な海苔を生産しています。三番瀬の晩秋から冬、そして春は一面にノリ養殖のヒビが並び、アサリやバカ貝を採貝するアサリ漁が行われているほか、スズキ、カレイ、ハゼを対象にした巻き網漁や底曳き網漁も行われています。また、大都市圏に近いこともあり、遊漁も盛んで、ほぼ周年様々なレジャーフィッシングの場ともなっています。

京浜・京葉臨海工業地帯の物流を支えるのが、横浜港、東京港、羽田空港といった世界屈指の港湾であり、湾内に大型貨物船が始終往来するほか、三浦半島と房総半島を結ぶ東京湾アクアラインを始めとした道路・橋梁が湾岸に整備されています。

観光スポットとして、東京ディズニーリゾートなどのアミューズメントパークがあるほか、お台場でのマリナーや屋形船による遊覧が行われています。



海ほたる